



ノーズワーク

におい認識テストと競技会におけ

る主催者マニュアルと

競技責任者及び競技会スタッフの為のガイドライン

適用期間 2024.1.1～2025.12.31

目 次

主催者の皆様へ

におい認識テスト	4
競技会	4

競技会前

競技会スタッフとの契約	5
競技会開催の告知	5
申し込み手続き	6
出場順	6
案内	7

競技会会場

サーチエリアの準備	7
コンテナ(容器)サーチ	8
インテリア(屋内)サーチ	8
ヴィークルサーチ(車両サーチ)	9
エクステリアサーチ(屋外サーチ)	9
ウォーミングアップエリア	9
問題報告書	9

競技会スタッフ

競技会主催者	10
競技会ジャッジ	11
競技会責任者	11
競技会責任者見習い	12
競技会受付	12
ジャッジ補佐/記録係(スチュアード)	12
タイムキーパー	12
呼び出し係	13
スコアランナー	13
撮影係	13
駐車場係/待機エリアマネージャー	13

競技会の進行

受付	13
競技会責任者による事前説明	13
エリアの下見	14
見学者への説明	14
結果の記録と登録	14
容認されない行動の報告	15

競技会終了後

競技会会場の後片付け	16
結果報告と保存	16
旅費・交通費の計算	16

現時点で日本で採用しない内容はマーカーで記し、スウェーデンの主催者マニュアルを翻訳したものを掲載しています。

主催者の皆様へ

このマニュアルは、におい認識テストと競技会を開催する主催者の皆様が競技前、競技中、競技後に行うべき事柄を記載しています。そして、競技会責任者や競技会スタッフ、その他の競技会関係者がすべき事柄についての説明も記載しています。

におい認識テストと競技会的主催者は、スコアシートと結果表、ディプロマのテンプレートをJNWSCから入手することができます。JNWSCに関するスポンサーの連絡先情報を得ることができクラブWebサイトに広告を載せることも可能です。

におい認識テストと競技会のスケジュールは、クラブWebサイトに掲載されます。

マニュアルに関する提案、質問、ご意見等がありましたら、件名に「主催者マニュアル」と明記の上クラブWebサイトのお問い合わせフォーム又は、メール (info@noseworksportsclub.jp) にてご連絡下さい。

におい認識テスト

競技会と一緒に開催されるにおい認識テストは、別のイベントとしてみなされる。

におい認識テストの開催申請は、主催者規約に同意の上、開催日の1ヶ月前までにクラブWebサイト内「におい認識テスト申請フォーム」から行うこと。

クラブからの開催申請受理メールが届いてから、受験者の募集を行うこと。

におい認識テストの受験者のデータはクラブで管理するため、テスト開催後8日以内にクラブWebサイト内「におい認識テスト結果報告フォーム」から受験ペア全ての結果報告を行い、データ管理費をJNWSCに支払う必要がある。

支払いがない場合、テスト結果は登録されない。

また、上記手順に従わなかった場合、結果はJNWSCの公認とならない場合がある。

競技会

競技会は全課目競技と単課目競技で行われる。

競技会を開催する為の条件は、適切な開催場所であり、そのエリアの中に入れるということが条件となる。

全課目競技の開催ができない場所の場合、単課目競技を開催することができる。

サーチエリアは14日間の検疫期間が必要である。これは車両についても同様である。

同日に異なる複数の競技会を行う場合、主催者は別々のイベントとしてJNWSCに申請し、1日分の開催申請料金を支払うこと。

競技会開催申請は遅くとも3ヶ月前までに申請し、申請日から10日以内に開催申請料を支払う必要がある。支払いがない場合、開催申請はキャンセルされる。

競技会開催申請をする際には、事前にジャッジと合意が出来ていること。

ジャッジは競技会当日までに、該当クラスの公認のジャッジ資格を保有していること。

ジャッジ1人につき1日に審査できるサーチ数は、NW1（初級）で最大100サーチ（25ペア）NW2（中級）で最大80サーチ（20ペア）、NW3（上級）で最大48サーチ（12ペア）とする。同日に2つ以上競技会を開催する際は、最大数を超えないようにすること。

例えば午前中にNW1、午後にNW2の競技会を行う場合、1人のジャッジの審査可能なペアの数は午前12ペア（4サーチ×12＝48サーチ）、午後10ペア（4サーチ×10＝40サーチ）となる。

参加者が増えた場合、ジャッジを増員することが可能。

ジャッジの連絡先はWebサイトに掲載。

主催者の事情により開催が不可能となった場合、JNWSCは開催申請料の払い戻しは行わない。

競技会当日、ジャッジ又は公認スタッフが急病等で不在となった場合、競技会責任者の指示に従い解決すること。まず、代役を出来る人がいるか確認し、次にJNWSCに例外事例としての承認を申請すること。

主催者が開催申請料未払いの場合、支払いが済むまで次の競技会の開催は許可されない。

ただし、既に開催申請を済ませている競技会については開催できることとする。

におい認識テスト及び競技会前

競技会スタッフとの契約

主催者は余裕をもって事前にジャッジ、競技会責任者、競技会スタッフ、タイムキーパー等、全ての関係者に依頼しておくこと。

関係者の交通費、ガソリン代、旅費に関する様々な経費はあらかじめ合意を得ていること。

主催者はジャッジの為の旅費・交通費計算書を提出すること。

ジャッジは審査料＋旅費・交通費の計算書にサインしたものを主催者に渡すこと。

主催者は、朝食、昼食と午前と午後のコーヒーを用意すること。

移動時間が2時間以上の場合は、宿泊が可能なシャワー/トイレとテレビ付きの個室を用意すること。

支払いが必要な場合は、主催者が支払うこと。

競技会の為に宿泊の必要がある場合は、夕食と朝食を用意すること。

競技会開催の告知

競技会の開催を告知する際、主催者は以下の内容を知らせること。

- ・ 日付、場所、時間
- ・ 参加料金、参加申込期限、参加費の振込先と支払い期日
- ・ 競技クラスと競技課目
- ・ 定員

・JNWSCの会員であることの確認

- ・ エントリー選出方法（抽選・先着順） ※海外から講師を招致する場合等はこの限りではない。
- ・ 主催者名
- ・ 会場付近の環境についての注意事項（騒音が発生する場合など）
- ・ サーチエリアについての注意事項（階段有り、サーチエリアの間隔が空いている等）
- ・ 競技会会場で他の活動が行われている場合の通知（一般施設利用者有り等）
- ・ 競技会会場の告知以降は、競技会が終了するまでその会場を練習等で利用することはできない。
- ・ 持ち物：**会員証（クラブのID有効期間は1年）**、予防接種証明書（狂犬病・混合ワクチンの2種類）
参加クラスのにおい認識テスト合格証書
- ・ 申し込み方法
- ・ 会場がバリアフリーであるかどうかの記載と、身体障がい者の方はお知らせ下さいという一文。
- ・ 別途、詳細案内の有無など

申し込み手続き

競技会参加にあたり、参加者は開催日の1日前までに該当クラスの競技に参加できる資格（におい認識テスト合格）を取得していること。参加者が競技会開催日までに参加資格を取得できなかった場合、競技会に参加することはできず、参加費の返金にも応じない。

参加申し込みは必ず指定の方法で行い、1回申し込むと拘束力を持つ。

抽選から漏れたり、既に定員になっていた場合は、自動的にキャンセル待ちとなる。

ハンドラーは複数の犬で参加申し込みができる。ただし、抽選になった場合は最初に当選した犬だけが出場でき、残りの犬の申し込みは取り消すこと。参加権を獲得した場合、犬やハンドラーの変更は認められない。

1頭の犬で複数人が申し込みをしている場合、当選したペア以外の申し込みは取り消すこと。

キャンセルについては寛容なキャンセルルールを設定すること。

キャンセル待ちがいる場合は、キャンセルを受理し、全額返金に応じること。

キャンセル待ちがない場合は、キャンセルはできない。

競技会開催日の14日前まではキャンセルが可能。キャンセル待ちがない場合のキャンセル又は14日以内のキャンセルについては、キャンセルルールに従って処理すること。

出場順

におい認識テストと競技会の出場順は抽選等で決められる。ヒート中の雌犬は最後の出場となる。

午前のグループと午後のグループに分けることも可能。また、課目ごとに出場順が変わる場合もある。

キャンセル待ちは申込順となる。定員に満たない場合、主催者は締切日を過ぎていても申し込みを受け付けることができる。

案内

全ての参加者、ジャッジ、スタッフに対して、遅くとも競技会の1週間前までに案内が送られていること。

案内は主催者のWebサイトに掲載するか、案内が記載されたPDFファイルを添付してメールでお知らせする。参加者に一斉メールを送信する場合は、個人情報が開示されないよう注意すること。

案内に記載する項目

- ・ 競技会会場の場所、競技会会場内の案内図（会場のどこの部分を競技会で使用するかを記す）
- ・ 受付開始時刻
- ・ 出場順（キャンセルがあった場合や雌犬のヒートが始まった場合は変更可能）
- ・ 下見の時間
- ・ ジャッジの名前
- ・ 競技会責任者の連絡先の詳細（メールと携帯番号）
- ・ 授与式の予定時間（○時を予定していますという書き方）
- ・ その競技会会場におけるルール 例：立ち入り禁止エリアや禁煙など
- ・ 参加者が持ってくるもの（**会員証**・予防接種証明書・におい認識テスト合格証明書等）
- ・ スコアシートがいつ、どのように配布されるか（郵送、メール、その場でもらえる場合もあり）
- ・ 見学者がいること

におい認識テスト及び競技会会場

主催者は、参加者が同じ条件で競技会に参加できるように、サーチエリアに関して責任を持つこと。

可能であれば、使用する会場は通常の運営が行われていない状態であること。

サーチエリアに近い場所で人の出入りがある場合は、サーチエリアに人が入ってこないようにスタッフが誘導すること。スタッフに対する責任は主催者にある。

競技会会場内に車両等の出入りがある場合は、その場所の競技が終わるまで待ってもらうようお願いすること。または、競技会そのものを一旦中断させること。

におい認識テストエリアの準備

におい認識テスト主催者は、駐車場や休憩エリア（排泄エリア）、待機場所等にいる参加者からにおい認識テストエリアが見えないようにすること。見えないことを確認する作業は、主催者が行うこと。

ウォーミングアップエリアは設けない。

サーチエリアの準備

競技会主催者は、駐車場や休憩エリア（排泄エリア）、待機場所等にいる参加者からサーチエリアが見えないようにすること。見えないことを確認する作業は、競技会責任者が行うこと。

競技会主催者が気を付けるべきことは、NW 1、NW 2についてサーチエリアの広さが適切であること。
同日にNW 1とNW 2を行う場合は、サーチエリアが別であること。

コンテナ（容器）サーチ

コンテナには芳香蒸留水付きのキャリアが1つ入っている。

犬が触れることができない状態で、コンテナの中に入っていること。

コンテナは安定した（転がるようなことがない）状態で設置されている必要があり、犬がコンテナに乗った際にも簡単に潰れることがない素材であること。

犬が怪我をする可能性があるもの、例えば陶器やガラス等の割れやすい素材などは、コンテナとして使用するのは不適切である。

もし、コンテナが壊れた場合は類似のコンテナに交換し使用すること。

すぐ開くような箱には開かないようにテープを貼っておくこと。ただし、テープの貼ってある箱は例外となるので、他の箱も同じテープを貼っておかなければならない。

いくつかのコンテナの角などに小さく印をつけても良い。印をつける場合、競技会の1週間前に行うこと。

コンテナは新品である必要はないが、壊れていない良い状態であること。

過去に芳香蒸留水を入れたことがないコンテナを使用すること。

コンテナはクラスに関係なく床または地面に置かれた状態で、最低12個使用する必要がある。

コンテナを安定させるために中に重りを入れることもあるが、入れる場合は全ての箱に同じ素材のものを使用すること。

NW1：段ボールで出来たコンテナのみを使用する。

形、外観、サイズは異なってOK。ただし、10cm×10cm×2cm以上であること。

NW2、NW3：あらゆるタイプのコンテナを使用して良い。

例、蓋付きのバケツやあらゆるタイプの鞆、スーツケース、PCケース（ハード/ソフト）など。

ただし、10cm×10cm×2cm以上であること。

密封されたコンテナの場合は必ず空気穴があいていること。

コンテナの意味は「物を収容できるもの」であり、靴、ヘルメットなどはコンテナとして認められない。

インテリア（屋内）サーチ

屋内サーチは安定した床であること。できれば、日中でも比較的一定の温度であること。

屋外の天気、風、雨、温度によって影響を受けない場所を選ぶこと。

サーチエリアはジャッジがペアを観察できる構造であること。

競技を行っている間、タイムキーパーからも見える構造でなければならない。

視界を遮る障害物がない場所でインテリアサーチを行うこと。

ヴィークルサーチ（車両サーチ）

車両間の距離は1.5m以上であること。車両の全ての側面に犬がアクセスできること。

車両の数はNW1で1～3台、NW2で2～4台、NW3で3～5台。

公式競技会では以下の車両の使用が認められている。

車／バス／ボート／航空機／芝刈り機（乗用芝刈り機）／バギー／ショベルカー／ヘリコプター
キャンピングカー／キャラバン／馬カート（車輪付きの荷台）／馬運車／ブルドーザー／被牽引車
トラックロードトレイン（長いトラック）／バイク（三輪・四輪・六輪タイプ）／トラクター
スクーター（座って乗るタイプのバイク）／路面電車／トレーラー（牽引タイプの大型車両）
フォークリフト（ターレー）／電車／スノーモービル／ゴルフカート／その他建設車両

一度サーチに使用した車両で、これまでにハイドを隠したことがない車両に限り他のクラスや
競技会のサーチエリアで使用しても良い。

ハイドを隠したことがある車両の検疫期間は14日間とする。

エクステリアサーチ（屋外サーチ）

風や温度に影響される場所が屋外サーチのエリアとなる。インテリアサーチとは異なり、屋外で行う
場合は、そこにあるものやありのままの環境を利用し、その場所にある自然の誘惑臭がある状態
で行う。エクステリアサーチでは、車両が存在してはいけない。

ウォーミングアップエリア

主催者はウォーミングアップエリアを用意しても良い。

その場合、参加者にハイドの位置を知らせること。

ハイドはジャッジと主催者のみ触れて動かすことが許される。エリアには1回につき1ペアずつ入
ることが出来る。出番が近いペアが優先的に利用できる。

ウォーミングアップエリアは、サーチを終えたペアも利用できる。

問題報告書

問題報告書は、競技会会場またはクラブWebサイトで入手できる。

必要に応じて、印刷しておくこと。

- ・容認されない犬の行動に関する報告（吠え、攻撃性など）
- ・不適切に犬が待機させられている場合（例：車、ケージ）に関する報告
- ・ノーズワークのルールなどに関する抗議報告
- ・不適切な行動に関する報告（人に適用）
- ・ジャッジへの旅費請求書（会計係宛）

問題報告書は8日以内にメール等に添付してJNWSCに提出すること。

競技会スタッフ

競技会スタッフの数と競技会関係者の数はイベントの大きさによって変わる。1つの役割に対しては1人で担当しても良いが複数人で担当することも可能。ジャッジ、競技会責任者、タイムキーパー受付、ジャッジ補佐/記録係は必ず競技会会場にいること。

競技は1人または複数のジャッジによって審査される。

ジャッジおよびジャッジ見習いはいずれもクラブによって、公認されていなければならない。

公式のにおい認識テスト及びJNWSCの公式競技会はJNWSCの公認のジャッジによって審査される。

ジャッジは自分の生徒の認識テストの審査も可能。ただし、公平を期すためタイムキーパーは外部の人（トレーニング等で関わっていない）に依頼すること。

それ以外は6ヶ月ルールを適用のこと。

（6ヶ月ルール：自分の生徒を6ヶ月間審査してはならないというドッグスポーツ全般のルール）

現状の特別措置：JNWSCの公式競技会は海外より講師を招致できる段階になってから開催予定。

におい認識テストのジャッジはクラブ会員であり、動物取扱業（訓練）登録者または、所属先事業所が動物取扱業（訓練）登録済みであること。

主催者は自身が開催するにおい認識テストは受験可能であるが、ジャッジ及びタイムキーパーはテストを受けることはできない。

競技会スタッフは、競技会責任者より情報をもらうこと。

自分が関わる仕事内容やルールについて理解していること。

以下に、競技会に必要な競技会スタッフの様々な仕事について記す。

NW 1の競技会で参加者が11組以下の場合、競技会委員会により例外も認められる。

NW 2の競技会で参加者が9組以下の場合、競技会委員会により例外も認められる。

NW 3の競技会で参加者が7組以下の場合、競技会委員会により例外も認められる。

競技タイプが2つ以上かつ競技会のクラスが2つ以上開催される場合は、このような例外は認められない。

におい認識テスト主催者

主催者は参加申込書、問題報告書、スコアシート等の必要書類やテストの実施に必要な道具や機器を用意すること。

主催者はテスト当日のエントリーにおいて、ペアのテスト参加資格を確認すること。

主催者はジャッジの要請に応じてタイムキーパーを用意すること。

競技会主催者

開催日から十分な時間を設け、競技会責任者と連絡を取り、競技会エリアを共に確認する。

- ・参加者の申込および締め切り後の処理について責任を持つ。（リスト作成等の事務処理が必要）
- ・主催者は必ず事前にルールと参加にあたり知っておくべき詳細を伝えること。ただし、当日の指示を優先する。
- ・競技会責任者との合意に基づき、エリアを隠すためのカバーやエリアの境界を示すもの（テープやコーンといった用具）の設置に責任を持つ。
- ・タイムキーパーのためのストップウォッチを用意しておく。
- ・ハイドとサーチエリアに必要な道具等に責任を持つ。（フェルトや芳香蒸留水、箱など）
- ・においの管理やフェルト等のキャリアの取り扱いに十分に気を付ける。

- ・ハイドの取り扱いに必要な道具を準備する。ゴム手袋や綺麗なピンセット、芳香蒸留水が入った瓶（スチール製魔法瓶などに保管する）、キャリア（綿棒、フェルト）、においホルダーなど。ネガティブキャリアは芳香蒸留水と一緒に保管されていないこと。
- ・ウォーミングアップエリアに必要な道具に関しても責任を持つ。競技会が終わった後、元に戻すことを忘れてはならない。
- ・受付に必要な物品に対して責任があり、ディプロマやリボンといった物品を揃える必要がある。
- ・スコアシートをプリントアウトしておく。
- ・授賞式の進行者を決めておく。
- ・クラブ主催の場合は、それぞれの課目の1～3位までのリボン又はそれに類似したものをクラブが用意しておく。
- ・1～3位の間に（同じ順位が）2組以上いる場合は、主催者がどのように賞品を分配するか決定することができる。ただし、全員の名前をアナウンスしなければならない。
- ・3フォルト以内で100点を獲得したペアにはディプロマを授与する。（4位以下でも）
- ・ディプロマはA4サイズ・白色の厚紙。厚さ0.15mm以上の用紙が好ましい。カラーで印刷する。ディプロマには、ジャッジのサインが記されている。（ジャッジが2人いれば2人分のサイン）
- ・競技開始前に、においがきちんと広がっているか、事前にサーチエリアをテストするホワイトドッグを用意する。（そのペアは競技会には参加しないこと）
- ・競技会会場の後片付けの責任を負う。
- ・競技会受付にスコアシートの参加者への配布方法を伝えておく。
スコアシートをコピーするか、写真に撮るか決めておく。参加者に渡すスコアシートはオリジナルかコピーしたものか決めておく。参加者がスコアシートを写真に撮るかコピーしても良い。
主催者が参加者に郵便やメールで送ることも可能。（住所を書いて切手を貼った封筒を預かるかスコアシートのPDFをメールに添付して送る）

競技会ジャッジ

- ・誘惑臭に何を使用するかを決めること。誘惑臭を持参するのもジャッジの役割。
- ・サーチエリアにおいて、どのような決まり事があるかを参加者に伝える義務がある。

競技会責任者

- ・主催者と共に、時間に余裕をもってサーチエリアを下見する。
- ・競技会エリアとサーチエリアの写真を撮り、説明と共に競技会ジャッジに送り、承認を得る。
- ・JNWSCのルールに沿って競技が行われることに責任を持つ。
- ・エリア下見の際に、参加者に対して必要な情報を伝える。
写真・動画撮影の可否についても説明する。
競技会が終了するまで、写真や動画がSNSに投稿されてはならないことを説明する。
- ・競技会主催者の決定に従って、参加者に対して、どのような賞があるか伝える義務がある。
- ・競技会中は全ての競技エリアにアクセスすることができる。
- ・競技終了後、競技会会場のハイドを取り除く。
- ・競技会主催者と一緒に競技会会場の清掃を行い、最終確認をする。

競技会責任者見習い

- ・ルール通りに競技会が運営されるようサポートする。
- ・競技会終了後の清掃も手伝う。

競技会受付

- ・事務作業を担う。
- ・混合ワクチン接種証明書、狂犬病予防接種証明書、におい認識テスト合格証、**JNWSC会員資格やIDの確認**をする。**有効な会員証、又は有効な各種証明書の持参が無い場合は、そのペアは競技会に参加できない。会員証のスマホ画像での提示は認める。**ワクチン接種証明書は原本のみ認める。
- ・上記に例外がある場合は、参加者と競技会受付がジャッジに知らせなければならない。
- ・スコアシートが正しく記入されているか確認する。
- ・競技結果を正確にPCに記録し保存する。
- ・各課目の順位表（結果表）を用意する。（競技会中に作成されることが多い）
- ・ディプロマはA4サイズ・白色の厚紙（厚さ0.15mm以上の用紙が好ましい）にカラー印刷しジャッジにサインをしてもらう。（ジャッジが2人いれば両名のサイン）。
- ・順位表（結果表）とスコアシートは主催者に渡し、JNWSCに提出する必要はない。
- ・主催者の指示に従って、スコアシートを保管・処理する責任を負う。
- ・スコアシートは競技会終了後、少なくとも5分経過後に配布する。

ジャッジ補佐 / 記録係（スチュアード）

- ・必要な書類が揃っているか確認する。
- ・スコアシートが書けるように準備してあるか確認する。
- ・サーチエリアを案内する。
- ・参加者からの質疑に応答する。
- ・スコアシートに結果を正確に記入する。
ジャッジのサイン等、記入漏れが無いが、スコアランナーに渡す前に確認する。
- ・サーチ終了後、退出ルートを案内する。

タイムキーパー

- ・タイム計測はデジタルタイマーを使用する。同じ課目では同じタイマーを使用することが重要である。
- ・スタートとストップの計測をする。
- ・サーチ時間が残り30秒となった時、参加者に伝える。
- ・記録係に記録したタイムを告げる。
- ・必要に応じてサーチエリアを元の状態に戻す。

呼び出し係

- ・サーチエリアの場所を参加者に出場順に案内する。複数のサーチエリアがある場合は、どちらに行くか指示する。

スコアランナー

- ・記入されたスコアシートを回収し受付に提出する。

撮影係

- ・競技中のペアを撮影する。サーチ中、ジャッジや参加者の邪魔をしない限り移動可能。

駐車場係 / 待機エリアマネージャー

- ・参加者や見学者に駐車場を案内する。
- ・参加者が順番通りにサーチエリアに移動できるよう、待機エリアを管理する。

競技会の進行

受付

- ・参加者が到着次第、受付を済ませる。以下を確認後、出場順を発表する。
- ・予防接種証明書（狂犬病ワクチン、混合ワクチン）
- ・マイクロチップID（マイクロチップの装着が義務化されるまでは必須ではない）
- ・参加クラスのにおい認識テスト合格証書
- ・JNWSCの会員証

競技会責任者による事前説明

競技スタート前に、参加者に競技エリアの場所とエリアの境界線を説明する。

エリアでは、どのようなルールや約束事項があるかを伝える。公式競技会以外で、ルールの変更が適用される場合は、事前にそれについて説明する。

授賞式の時刻も同時に伝え、以下についても説明する。

- ・人のトイレの場所
- ・会場の使用時間
- ・待機場所
- ・喫煙可能エリア
- ・ジャッジとスタッフの紹介
- ・他の参加者と距離を空けること（犬と犬を近づけさせないこと）

エリアの下見

エリアの下見は、責任者または専任スタッフが行う。

下見は参加者全員が揃ってから行う。

下見は犬を同伴してはならない。午前と午後がある場合は、2回に分けて行っても良い。

下見の目的は、参加者に移動の動線と待機エリアについて説明することである。

ジャッジは、サーチエリアについての概要（エリアの範囲、スタートライン、セキュリティ（安全）についての注意事項）を伝える。

主催者は明らかに危ないものやリスクを伴うようなもの（ガラスの破片など）を除去しておく責任があるが、サーチエリア内の障害となり得るもの、例えば段差、滑りやすい床、格子状の階段といったものについて注意するように伝える。

見学者への説明

競技会主催者はジャッジと共にそれぞれの課目について見学者の有無を決定する。

見学者は参加者の邪魔をしないように適切な距離を保った場所にいること。

可能であれば、テープ、バンドなどで見学者エリアを指定しても良い。

ジャッジは見学者に、競技の開始前に以下のことを伝える。

- ・見学者は静粛に、ジャッジが指示を与えるまでは決して拍手をしてはいけない。
- ・携帯電話はマナーモードに設定する。
- ・写真・動画撮影をする場合は、競技会責任者または主催者の許可を得る。
- ・授賞式の前にSNS上へ写真・動画を投稿してはいけない。
- ・競技会会場内での移動についての説明。
- ・見学者は、参加者にサーチエリアについてや、ハイドの場所を教えるてはいけない。
- ・見学者は、競技会会場内に犬を同伴してはいけない。

結果の記録と登録

スコアシートには以下のように記録すること

- ・ハンドラーが途中で課目を中断した場合、0点、0フォルト、制限時間MAX。
次の課目は受けることができる。
- ・ハンドラーが課目を始めなかった場合は、0点、3フォルト、制限時間MAX。
「ハンドラーが課目を始めなかった」という項目にチェックを入れること。（その課目について）結果は最下位になるが、もし、他の参加者がジャッジによって中断を受けた場合は、その前の順位となる。（ジャッジに中断された人が最下位となる）
- ・ハンドラーが競技を棄権した場合、0点、3フォルト、制限時間MAX。
「ハンドラーが競技課目を棄権した」という項目にチェックを入れる。
ただし、最後までサーチした課目については、点数は保持される。
- ・犬が体調不良、跛行、病気のように見える場合、ジャッジは競技を中断すること。
全ての課目について0点、3フォルト、制限時間MAX。「ジャッジが中断した」という項目にチェックを入れる。結果、順位は最下位となる。（棄権した人よりも順位は下）

- ・犬がストレスを見せている時（過剰な心理的負荷によるパンディングや吠え等）ジャッジは犬の精神状態（犬の気質）を理由に競技を中断することができる。0点、3フォルト、制限時間MAX。「ジャッジが中断した」という項目にチェックを入れる。ハンドラーは次の課目に進めるがジャッジが次の課目も中断した場合、「ジャッジが中断した」という項目にチェックを入れる。
- ・全ての課目が終わる前にハンドラーが不適切な行動、容認されない行動を見せてクラブに報告された場合、0点、0フォルト、制限時間MAX（4課目全部に関して）。「ジャッジが中断した」という項目にチェックを入れる。
- ・全ての競技の終了後、ハンドラーが不適切な行動や容認されない行動でクラブに報告された場合は、点数は保持される。しかし、JNWSCは内容をチェックし、キャンセルすることもできる。
- ・ベストペア特別賞は、2名以上のジャッジ審査の場合でのみ選出することができる。

受付はスコアシートに沿ってクラブのウェブサイトの結果を登録する。

容認されない行動の報告

におい認識テスト及び競技会等のクラブ主催の活動中に、攻撃性を示す等、他の人や犬、動物を脅かす行為など、容認されない行動を示す犬について、競技会スタッフは問題報告書を通じてJNWSCに報告すること。

補足：フラストレーションからの吠えに関しては特に定義されていないが、社会性を持った上での吠えは該当する。

以下の行動に該当する場合は、主催者は書類に記してJNWSCに報告すること。

- ・犬が競技中及び競技前に容認されない行動を見せ、その場でジャッジに退場を指示された場合。その際、0点、3フォルト、制限時間MAXが課せられる。ジャッジはスコアシートの「サーチを中断した」の項目にチェックを入れ、JNWSCに報告をする。
- ・犬が競技中及び競技前に容認されない行動を見せたが、ジャッジに退場を指示されなかった場合。その際、0点、3フォルト、制限時間MAXが課せられる。ジャッジはスコアシートの「サーチを中断した」の項目にチェックを入れ、JNWSCに報告をする。
- ・犬が競技開始前に競技会会場で容認されない行動を見せた場合、ペアは退場となる。全ての課目において0点、3フォルト、制限時間MAXが課せられる。ジャッジはスコアシートの「サーチを中断した」の項目にチェックを入れ、JNWSCに報告をする。
- ・犬が競技終了後に競技会会場で容認されない行動を見せた場合は、競技結果はジャッジのスコアシートに沿って登録されるが、容認されない行動をしたことも記載した上でJNWSCに報告をする。

以上の点についての報告内容に関してJNWSCからの注意がなければ、翌日からそのペアは認識テスト及び競技会に参加することができる。

競技会終了後

競技会会場の後片付け

競技会主催者は使用した会場を競技会責任者とスタッフと共に元の状態に戻す責任がある。
ノーズワークのにおい認識テストや競技会を今後も継続・促進していく為に会場を正しく使用すること。

結果報告と保存

競技会主催者は、におい認識テストと競技会の全参加者の連絡先（住所・メールアドレス・電話番号）と結果（ペアID、ハンドラー名、犬の名前、開催日、開催場所、ジャッジ名、結果）を2年間保存すること。

ジャッジのスコアシートは原本である必要はない。

旅費・交通費の計算

主催者は、旅費・交通費のフォーマットをWebサイトよりプリントアウトしジャッジがそれに記入を行うこと。

交通費、ジャッジ料、競技会の名前、開催都市名が記されている必要があり、主催者も内容を確認すること。

ジャッジが旅費・交通費及びジャッジ料を請求しない場合は「0」と記し、ジャッジはサインを記入した上で書類を主催者に渡すこと。

主催者はJNWSCに書類をスキャンしたデータを送信すること。

何かご不明な点がございましたらJNWSCまでお問い合わせください。

info@noseworksportsclub.jp

このルールブックはSNWK（スウェーデンノーズワーククラブ）の主催者マニュアルを元にJapan Nosework Sports Club が翻訳作成しました。